

みどりみらい 3rd Season ぐんじとしのりの議会報告

2012/02/15

Vol.16

西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID : toshigunji@hotmail.com / Twitter : @toshigu

http://www.mmirai.com (HP) <http://togu.seesaa.net/> (ブログ)

印西地区環境整備事業組合議会が開催されます。

いつもお世話になっております。2市1町で構成される印西地区環境整備事業組合の2月定例議会(予算議会)が2月16日(木曜日)の午前10時から開催され、「印西クリーンセンターの移転」に関する予算等について質疑が行われます。また私、ぐんじとしのりは以下の通り、一般質問を通告済です。(同日午後1時より質問に立つ予定です。) 以下、質問通告内容をご提示します。

I 印西クリーンセンターの移転問題について

私たちの可燃ごみを処理する清掃工場「印西クリーンセンター」の移転問題で、環境整備事業組合では、予定していた移転先の用地取得費40億円の2012年度予算案への計上を見送ったことが16日に組合議員に対して報告された。新聞報道によると「住民の反対運動が起きているため、今後も説明を尽くしていきたい」と記載がある。

(1) 説明会について

- ① 今までの説明会で住民の理解は充分得られると考えているのか。考えていないとすれば、どのように対応していくつもりか。(「丁寧に、粘り強く説明していく」と説明会で回答を行っていても、納得が得られなければ、事業の推進は住民の意向を無視して進めるのか。また、新聞報道によると説明を尽くすとあるが、説明は尽くされているとの認識か。)
- ② 今までの説明会において、質疑が終わらないまま会場の都合で終了するというケースが何度かあったが、住民の意向は充分にくんでいると考えているのか。

(2) 土地の取得について

2月の今回の定例議会には土地の取得費用については計上しないと先述のとおり、マスコミ等にも公表されたが、説明会においては「事業は推進していく旨の発言」を行っている。

- ① 当該土地の取得を「正式に決定」したときにどのような話合いで決定されたか経緯を示す文書がメモ書き程度の文書しかないと聞く。事実上、議事録なしで、事業の実施が決定されるものなのか。文書管理はどのようになっているのか。
- ② 情報公開の意味でも、正副管理者会議を公開することはできないか。
- ③ 今後の土地の取得案件が議会予算に計上される際にはどのような手続きを踏むのか。
- ④ 当該予定地は液状化が懸案される土地だと聞くが、購入後、災害が発生時の土地の販売責任を問うことを行うか。
- ⑤ 移転先の用地については説明があったが、更に30年後の移転予定地を確保する意味はあるのか。

(3) ゴミの分別、減量とリサイクルについて、

印西地区環境整備事業組合は構成市町とどのように情報交換し今後のゴミ処理計画を策定し、実施していくのか。

- ① 構成市町の動きを把握しているのか
- ② 構成市町との計画における整合性は取れているのか。
- ③ 具体的な打合せ会議や連絡会は存在するのか。存在するとすれば、どのような規約でどの位の頻度で開催され、今までの議論はどのようなものだったのか。
- ④ 平成25年度に策定するとされているゴミ処理計画を前倒して平成24年度に策定するつもりはないのか。

II. 印西クリーンセンターにおける放射能を含む灰について

- ① 現在の保管量と今後の見込みについて
- ② 組合内部で処分ができなくなる見込みはどうなっているのか。
- ③ 手賀沼最終処分場へ焼却灰を持ち込む可能性はあるのか。
- ④ 組合側では千葉県と焼却灰の処分について打合せは行っているのか。

組合議会に市民からの請願が提出されました。私が紹介議員になっています。

「広く地域住民の意向を踏まえた次期廃棄物処理計画の検討を強く求める請願書」が大塚三丁目町内会クリーンセンター対策委員会(代表:小竹 茂夫様) /賛同者他 3790名 から提出されました。今回、私は紹介議員として、以下の請願の趣旨を踏まえ、請願項目の実現にむけて活動をすすめてまいります。

請願の趣旨：

平成22年4月、印西クリーンセンターの更新等について検討した次期中間処理施設整備検討委員会は、比較評価結果を含む次期中間処理施設整備事業対象用地の評価業務に関する報告を組合管理者に提出する際に、まちづくりの観点からの検討の必要性を訴えています。

また、平成22年11月印西市長は組合管理者に対し、経済性の精査・研究と周辺住民への配慮を求めています。

しかし、実際には、まちづくりの観点からの検討、経済性の精査・研究及び周辺住民への配慮が充分におこなわれているとは思えません。また、事業対象用地の評価業務において、地盤状況や土地の位置情報などの重要な判断材料が与えられていませんでした。また、わが国は東日本大震災を経験し、街づくり・環境・エネルギーに関する市民の意識は大きく変化をいたしました。そこで、今後、充分かつ慎重な検討のもとに次期中間処理施設整備事業を進めるために以下を請願します。

請願項目：

1. 平成24年度中に移転予定地の取得費の予算計上をしないこと
2. 広く印西市民・白井市民・栄町民の意見を聴取する検討組織を立ち上げること。
3. 平成25年度に予定されているごみ処理基本計画の策定に向けて、財政負担の問題やごみの減量化等の施策を含めた次期廃棄物処理計画の検討を繰り返して実施すること。

平成24年印西市議会第1回臨時議会が開催されました。(2/9 木曜日)

(1) 臨時議会の付議事件について・・・ 市長提案 条例の制定 1件 /補正予算 1件

(2) 補正予算の内容について (全会一致で可決)・・・ 歳入/歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ26,369千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ、30,774,344千円とする。(今回の補正予算で可決された予算は3月末までに放射線対策として使用することを前提としています。)

* 主な対策 公害対策事業 4537千円 =高圧洗浄機を12台購入

9つの中学校区と市役所、支所の合計12台配備 (300リットルサイズ)

公園緑地維持管理事業 6329千円 =小林稲荷谷公園 戸神台西街区公園 吉高台大谷公園

小学校施設管理に要する経費 4295千円 永治小学校

幼稚園施設管理に要する経費 7487千円 =市立幼稚園3園 園の表土剥離、埋設他

今回の放射線対策については、印西市が現在策定中の「除染計画」に基づくものでなく、国から除染に対する補助金が受けられると想定される事業を、印西市の貯金(「財政調整基金」)を取り崩して行われるものです。また、除染計画については、県内では先行する柏市や流山市がありますが、事業の実施には事実上、どの自治体もまだ至っていないという答弁がありました。(印西市では今月末頃には実施に向けたパブリックコメントを実施したいとの考えを答弁しました。)

この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。市政の最新情報を求める方は私のブログやツイッターをご覧ください。(随時更新しています)
市民参加のまちづくりを引き続き、皆様と行ってまいります。宜しく願います。

ぐんじとしのり